

平成 27 年度 中野市子ども・子育て会議

- ・日時：平成 28 年 2 月 8 日（月） 午後 6 時 00 分～午後 6 時 50 分
- ・場所：中野市民会館 41 号会議室

出席者 委員 : 今井善明、西澤観有紀、矢島由美子、畔上貴美恵、湯本美奈子、
伊藤 勇、高木 涼、滝澤博子、西原芳子、小林貴三子、大口和江、
武田栄子、三原 滋、高野次郎、樋口美代子、西原優子、小林美英子、
中山 愛、川口未紗

順不同敬称略

事務局 : 8 名

1 開 会

2 あいさつ

(樋口会長)

お忙しい中、また寒い中お集まりいただきありがとうございます。本日は事務局から報告事項が 1 件、協議事項が 1 件が提出されておりますが、委員の皆様には、お気づきの点についてご意見などをお聞かせいただくとともに、議事の円滑な進行にご協力をお願いいたしまして、あいさつとさせていただきます。

子ども部長あいさつ

自己紹介

《 出席委員、事務局 》

3 報告事項

(1) 教育・保育の量の見込みと実績について

《 資料に基づき、事務局より説明 》

・質問・意見なし

4 協議事項

(1) 中野市次世代育成支援計画「子どもすくすくぷらん」実施状況について

《 資料に基づき、事務局より説明 》

(樋口委員長)

ただいまの事務局の説明に対して、何かあるか。

(三原委員)

12 ページの⑩障害児保育事業の実施の項目、「受け入れ可能な保育所」を「受け入れ可能な施設」と訂正する理由は。

(事務局)

市の保育所だけでなく、市内の民間幼稚園でも実施しているところをカウントしたために訂正するものです。

(三原委員)

年度途中で障がいを持ってしまう場合等があるので、年度途中でも申請できるような、障がい児の受け入れ態勢づくりをお願いしたいと思います。

(事務局)

要望として受け止めます。努力して参ります。

(高野委員)

4 ページの(4) 予防接種事業の実施の表の中で、下から2行目の「ヒトパピローマウイルス」と記載がありますが、「ウ」が一字多いので訂正してください。

(事務局)

ありがとうございました。

(2) その他

なし

(樋口委員長)

これで会議を終了します。ありがとうございました。

(事務局)

全体を通して、何かございますか。

(高木委員)

国の施策で、子ども・子育て会議の中で計画が立てられ、平成27年度から子ども・子育て新制度が新しく始まったのですが、新しく1年やってみてどうだったかとか、保護者や施設の経営者の立場から見てのどうだったのか、どこが良くてどこが悪かったのかとか、という議論を進めていくのかと思ったんですけど、ただただ平成26年度の実績をいただいても、何をどうすればという感じです。

まずは、新しく始まって、新しい保育料の考え方とか、いろんな考え方とか変わって、保育時間も変わったりして土曜日保育の利用者が増える、ということはお父さん・お母さんが

から見れば利用しやすくなっていいことだけれども、職員や運営する側からすると人手を集めるのに大変だとか、延長保育もそうですけど、皆さんが便利になるほど経営する側は大変な思いをするけれども、子どもの成長が一番なので皆頑張るといふことがあるのですけど、これからは良くしていくことを考えての会議をお願いします。

(事務局)

ありがとうございました。今回の会議は平成 26 年度の実績の評価と公表についてがメインでした。ただ、新しい計画は皆様に作成していただいたことでもありますので、会議の冒頭で、主に内容が変わってきた保育の部分について報告事項とさせていただきます。

平成 27 年度からの新制度の実績、評価と公表については、平成 28 年度で開催する会議に、皆さんの意見を頂戴するなどして今までの実績資料を改良し、改めて皆さんにお示しさせていただいて開催したいと思ひます。よろしくお祈ひします。

(高木委員)

そうすると、それは再来年度に反映されるようになると思ひともどかしい。昨年行われた子ども・子育て会議も中野市は全国でもすごく遅かったです。昨年度の後半ぐらいに 2 回や 3 回の会議で決めてしまった。よそは 1 年かけてやっていた。本年度も数回開催してもらいたかった。来年度は実際の新制度、運営に関わるような議論をする場所にしていただけたらと思ひます。

量の見込みに戻って申し訳ないんですが、0 歳児が増えているのですけど、0 歳児に拘わらず、保育所に入れなかつたとか、待ってもらっているとかは実際にはあるのですか。

また、中野市の秘策はありますか。あと、障害児の途中入所とか、医療行為が必要な子が実際いらつしやつたのですが、この問題が継続中なのですけど、今後、どのようにお考えか教えてもらいたい。

(事務局)

秘策はございません。福祉と関わる部分もあり、公立でも苦しいところですよ。

今後、その様なことが出てくる中で、私どもも私立の皆様も保育士の確保や医療関係の方を探していただいたりしていただいておりますけれども、何とか確保していきたくて思ひます。

(高木委員)

大変いろいろやってもらっているのはわかっているのですけど、みんな一緒になって連携しながら、待っている家庭が利用できるよう、こういった場で、いろんな人、いろんな角度から意見を聴いて一緒にやっていきたいと思ひますので、是非よろしくお祈ひします。

5 閉 会